

| 要素 | 第1回会議の意見整理表 |
|-----|--|
| 窓口 | <p>【誰にとってもわかりやすい窓口について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の市役所は手続きごとに窓口や建物が変わり、わかりにくい。また職員の横の連携がとれていない。 ・正面玄関を入ったらどこに行けばいいかすぐわかるような建物にしていきたい。 ・高齢者・妊婦・障害者が使いやすいよう、2階3階に上がることなく平面ですべて終わる窓口がよい。 ・市役所を建て替える場合は、窓口を色々と回らなくていいよう、一つのホールに向き合った作りにしていきたい。 ・複数の課題を持っておられる方、障害者、初来庁の方のことを考えて、窓口をワンフロアにするなどわかりやすくしていきたい。 ・利用者の年齢幅が広いので、ターゲット層を分けた階を作ってはどうか。 ・市民ではなく職員が回る窓口があってもいいのでは。 <p>【テクノロジーを使った便利な窓口について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットやキャッシュレスなどもっとテクノロジーの力を使い、行かなくてよい市役所にしてほしい。 ・パスワードを発行して、パソコンやスマホで申請や発行手続きができるようにするべき。 ・市役所に行く機会を手間と考える市民が多い中で、市役所に求められるサービスは、市役所が発信するサービスと乖離があるのではないか。 ・ネット手続きは整えてほしいが、使えない人のことを考える必要もある。 ・高齢者等の対応は考慮しつつ、I T化で省略できるところはするといったことが一つの柱になると思う。 ・窓口はスムーズであったが、民間に比べこの程度かと感じた。もっと短縮化、縮小化を考えるべき。 ・マイナンバーカードの利便性を高めたい。 ・I T化で市民が来なくなれば、職員もたくさんいらなくなる。駅の近くに窓口業務の出張所を作った方が立派な建物をたてるより市民にとっては便利なのではないか。 ・拠点が1つだけだと、どうしても遠い近いが出てくる。例えば地域の公民館等で画面越しでも対応があればいいと思う。 |
| 防災 | <p>【耐震化か建て替えかについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所はやはり防災拠点になるものであるべき。 ・耐震補強では大地震が起こったあと、これまでどおりの機能は維持できない。また、耐震補強後50年持つかどうかは別問題。 ・これからどんどん災害が増えていくと考えられている中で、庁舎がもつもたないのレベルで議論をしてはいけない。 ・明日にでも大地震が起きると考えて、すぐに耐震補強するのか、将来的な庁舎の役割を考えて新しいものを建て替えるか考える必要がある。 <p>【浸水について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震だけでなく水害に耐えられる場所に建てていただきたい。 ・寝屋川流域は全国的にも浸水リスクが高い地域だが、その分、深北緑地や地下貯留など浸水対策も進んでいる。しかしハザードマップの想定も見直される可能性があり万全とはいえない。電気系統などは2階以上に配置するべき。 ・護岸壁を越流することは考えられないが、破堤は可能性としてはある。 ・拠点という観点では浸水しない場所に設置できることが望ましいが、そうでない場合、セカンドベストは考えておくべき。 ・ハザードマップでは現在地は1～2m浸かる。機材は上に上げれば守れるが、人はどうなるのか。浸水時には人が役所に行くことができず、現実的には災害の拠点にはなりえないのでは。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害があった際、全国からボランティアが集まる拠点を庁舎に作ってはどうか。 ・役所機能を1か所に集中させるのではなく、I C T化によりサテライトとつなぐような機能も検討していきたい。 |
| 交流 | <p>【付加機能について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料開放の会議室等があれば、親しみのある市役所になるのではないか。 ・保育所、レストランとの複合もいいのでは。 ・市民に開かれた役所としてオープンスペースは必要。 ・自身あまり市政については知らない。もっと市の事を知ることができ、行きたくなる、関わりたくなるような庁舎がいい。 ・単に書類を出すだけの市役所でもいいのか、市民交流について市民委員の考えを知りたい。 ・I T化の流れはまちがいない。一方で人と人との触れ合いの提供が市役所の役割になるのでは。新庁舎を検討する際は、どういった市民の交流がこれからされていくのかも考えていく必要がある。 ・市役所は公益サービスが第1だが、維持管理の面から市民交流や生活と組み合わせにより収益性を上げていくような在り方を考えていくべき。例えば、J R新駅と市役所をセットで建てるなど。 ・職員同士の交流の仕方や機能のまわり方自体も新しくならないと、建物も新しくならない。箱を作るというより、中身を考えていくことが大切。 ・役所の機能の在り方や交流の在り方をこの審議会で提案していければよい。 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の意識改革も大切。 ・各部署が各々で取り組みを進めているが連携した方が効率的に思う。 ・市庁舎の建替えは市の決意の現れ。市のまちづくりの方向性を伝えるものにすべき。 ・民間の土地に市役所を建てるのは不安に思う。まとまった公有地はあるのか。 ・前の候補地は、渋滞する場所であるし、車の出入りも難しい。 |